

岡山県障害者（児）施設サービス自主評価結果（公表用）

施設名：グループハウスおちあい

施設所在地：岡山県真庭市下市瀬653番地

施設種別：共同生活援助

運営主体：社会福祉法人 慶光会

施設長名：森岡 大輔

評価月日：令和8年3月25日

評価項目（中項目）	評価結果
I-1 理念・基本方針	評価：B 年度当初の全体職員会議で職員に対して周知を図っている。外部に向けてはホームページやパンフレット等により周知を図っている。 世話人へは理念や基本方針を伝えているが、変則的な勤務のため、日々の振り返りは難しい状況がある。
I-2 計画策定	評価：A 法人の事業方針を基に、事業所の重点課題や具体的な取り組み内容を事業計画に記載している。 計画の策定にあたっては、課題改善や自律を目的とした計画立案に努めた。
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	評価：A 日中事業所との協力体制を整え、いつでも連絡を取れるようにしている。世話人の困りごとや入居者の体調不良・心配ごとには、すぐに対応し改善を図った。
II-1 経営状況の把握	評価：B 事業所の経営状況については、毎月の管理者会議にて経理部から共有が図られている。 物価高騰の影響も少なからずみられたが、経営状況には大きな影響はなかった。
II-2 人材の確保・養成	評価：B 法人全体の職員研修には世話人も参加している。 世話人の雇用形態や高齢化などの理由から外部研修への参加はできていない。 引き続き世話人の高齢化が課題となる中で、後継者の確保が必要である。
II-3 地域との交流と連携	評価：A 地域ふれあい祭りや地域の祭りなどのイベントに参加した。また、地域住民主催の夕涼み会では、地域の方が声をかけてくれている。

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	評価：B 全職員が人権擁護、虐待防止に関するセルフチェックを実施し、日ごろの支援の振り返りを行った。また、虐待防止委員会を中心に虐待防止研修を開催し、虐待に対する意識向上を図った。
Ⅲ-2 サービスの質の確保	評価：A 入浴支援や通院同行など、世話人では対応できない支援については、日中事業所と連携しながら対応した。日々の利用者の変化については日誌に記録し、情報の共有を図った。
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	評価：A 現在は定員上限のため、新規の受け入れは受け付けていないが、サービス利用開始時には契約書、重要事項説明書等の資料を提示し、分かりやすく丁寧な説明を心掛けている。
Ⅳ-1 利用者に応じた個別支援プログラム	評価：B 個別の相談や入居者会議などから、課題やニーズを集約し、入居者と一緒に解決策の検討を行い、改善を図った。
Ⅳ-2 日常生活支援サービス	評価：B 安心・安全に本人の望む生活ができるよう、日々の状況把握や情報提供に努めた。余暇の過ごし方では、入居者全員で出掛ける行事の企画ができていないため、次年度は計画的に実施できるよう取り組む。
V-1 生活環境の整備	評価：B 入居者が快適に過ごせるよう、環境整備については適宜対応しているが、建物の老朽化については住み替えも含めて法人で検討していく必要がある。
Ⅵ-1 緊急時の対応	評価：B 法人で災害時BCP、感染症対応BCPが策定され、有事の際は各BCPに沿って行動できるよう整備されており、毎年見直しを実施している。また、入居者には管理者と協力事業所の職員へいつでも連絡が取れるように連絡先を提示している。
Ⅶ-1 就労意欲の醸成	非該当。

＊着眼点の項目等を参考に、具体的な実施（達成）の状況や、未実施の場合はその理由など評価における根拠とともに、今後の改善計画（方針）なども記載してください。

＊Ⅶ-1 就労意欲の醸成」欄は、授産施設のみが該当します。